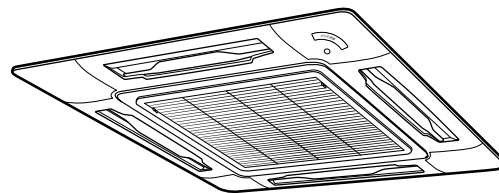


東芝パッケージエアコン 取扱説明書

天井カセット形 <ワイヤレスタイプ> パネル

形名 _____

高所用オートグリルパネル
RBC-UAH21PG



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	3
操作のしかた	4
お手入れのしかた	7
上手な使いかた	8
応急処置のしかた	9
故障かな?と思ったときは	10
保証とアフターサービス	11

このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。



この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニット、室外機に付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。取付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

安全上のご注意




商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	表示の意味
 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が ¹ 傷害を負う可能性、または物的損害 ² のみが発生する可能性があること」を示します。

1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼すること

据え付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。



強制

自分で分解・改造・修理・移設をしないこと

火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへご依頼ください。



分解禁止

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用すること
指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



指定製品を使用する

アース工事が正しくされているか確認すること
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。確認方法については、据え付けをおこなった販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。



強制

可燃性ガスが漏れるような場所を設置場所に選ばないこと
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。



禁止

空気の吹出口や吸込口などから物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしないこと
内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。



禁止

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないこと
体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

移設・修理後、エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること

冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認すること
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。



強制

降下した吸込口に人が乗ったり、品物を乗せたりしないこと

紐の切断などによるケガの原因になります。

（オートグリル付の場合）



禁止

小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行うこと

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。



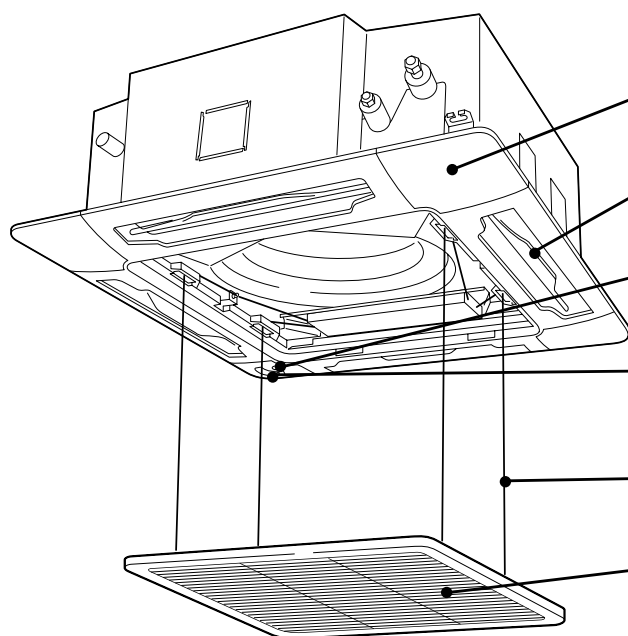
限界濃度を超えない対策をする

⚠ 注意

<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しないこと 品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>	<p>エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しすること 水気が残っていると感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強 制</p>
<p>漏電ブレーカーが正しく取り付けられているか確認すること 漏電ブレーカーが正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;"> 強 制</p>	<p>エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らないこと 転倒などけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>
<p>燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする 換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強 制</p>	<p>エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かないこと 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>
<p>エアコンの風が直接あたる場所で燃焼器具を使わないこと 燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>	<p>ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認すること 排水工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。</p> <p style="text-align: right;"> ドレン排水を確認する</p>
<p>エアコン本体を水洗いしないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>	<p>ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かないこと ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>
<p>室外ユニットの上に乗ったり、物を載せないこと 落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>	<p>掃除をするときは、必ず運転を停止して手元電源スイッチを切ること 内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強 制</p>
<p>可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないこと 発火の原因になります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>	<p>濡れた手でボタンを操作しないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁 止</p>
<p>1年に1度は、室外ユニットの据付台などが傷んでいないか点検すること 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強 制</p>	<p>電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にすること 故障、火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> エアコン専用回路になっているか確認する</p>
<p>正しい容量のヒューズ以外は使用しないこと 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。</p> <p style="text-align: right;"> 正しいヒューズを使用する</p>	

各部のなまえとはたらき

室内ユニット



天井パネル

吹出口(4カ所)

フラップ(上下風向調節板)により
風向設定ができます。

受信部

リモコンから送信された信号を受
信します。

サービススイッチ

応急時に昇降グリルを昇降させます。

吊りワイヤ(4本)

昇降グリル(吸込口)

内側にはエアフィルターが取り付
けてあり、ホコリやゴミが室内ユ
ニット内部に入るのを防ぎます。

オートグリル操作専用 ワイヤレスリモコン(別売品)



送信部

操作ボタン「上げる」

上昇させるときに押します。

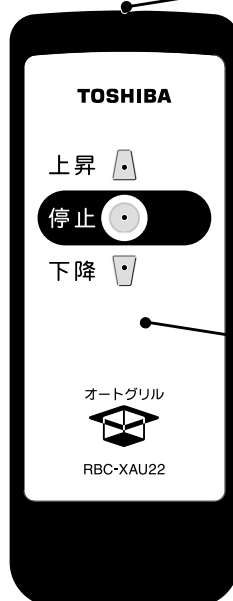
操作ボタン「止める」

停止させるときに押します。

操作ボタン「下げる」

下降させるときに押します。

RBC-XAU21



送信部

上昇

停止

下降

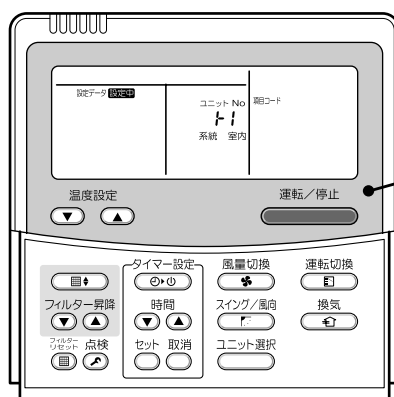
操作ボタン(4ページ)

オートグリル

RBC-XAU22

RBC-XAU22

ワイヤードリモコン (別売品)



操作ボタン(5ページ)

操作のしかた

ワイヤレスリモコン

⚠ 注 意

電源投入時、初めて操作した場合は、下降を押しても上昇動作をします。
操作するときは、エアコンの運転を停止してから行ってください。
昇降グリルが作動中に逆方向の操作をすると、数秒停止後に指定の動作をします。
ワイヤレスリモコンを天井パネルの受信部に向けて操作してください。

下降させるとき

操作ボタンの 下降 ▼ を押してください。
昇降グリルがゆっくりと降りて来ます。
障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

操作ボタンの 停止 ● を押してください。
昇降グリルの降下、上昇が停止します。
停止 ● を押さないで下げて行くと、自動的に停止します。(出荷時の設定は2mです。)
昇降グリルの高さは変更することができます。
変更したい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

上昇させるとき

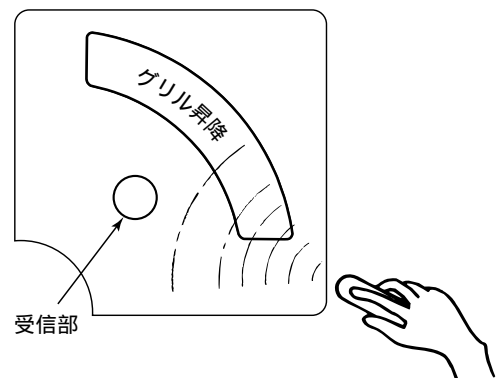
操作ボタンの 上昇 ▲ を押してください。
昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
モーターが停止したことを確認してください。

電池について

電池の交換は約1年が目やすすが、受信部に近づかないと受信できない場合は、電池を交換してください。
長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
ご使用後の電池は指定の場所に捨ててください。

取り扱いかた


送信部は、天井パネルの受信部に向けてください。
受信できる距離の目安は、約4mです。
受信部との間に信号をさえぎる物がないようにしてください。
直射日光やストーブの近く等に置かないでください。
電子式瞬時点灯方式(ラビッドスタート方式)または、インバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けられない場合があります。
落としたり、投げたり、水洗い等しないでください。




ワイヤードリモコン


⚠ 注 意

昇降グリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。

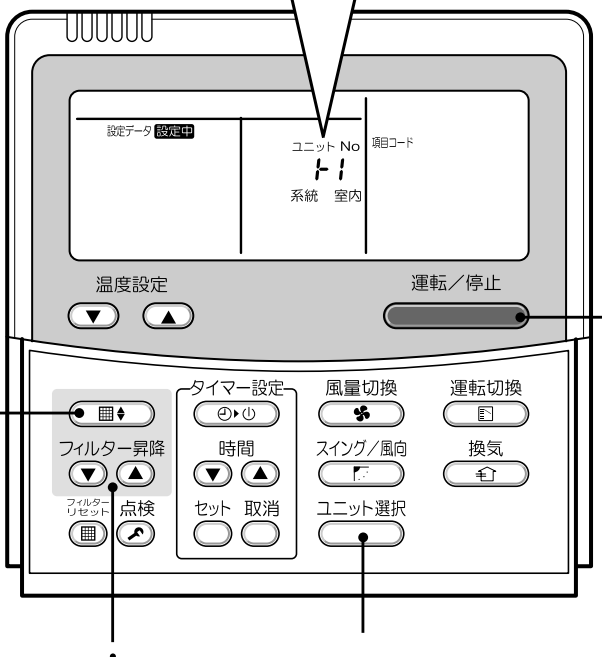
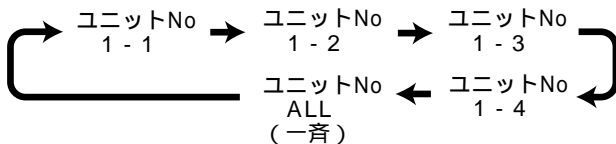
 を4秒以上押すとワイヤードリモコンに“ フィルター **昇降** ”が点滅します。
(室内ユニットの運転は停止します。)

1 台のワイヤードリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合(グループ制御)、ワイヤードリモコンに“ ユニットNo ”が表示されますので、 を押して、操作する室内ユニットを選択してください。
(詳細は下図を参照してください。)


ユニット選択について

 を押すごとに次のように切り換わります。

(例) 室外機 1 台に室内ユニット 4 台接続

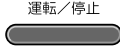


下降させるとき

フィルター昇降(温度設定)  を押してください。

昇降グリルがゆっくりと降りてきます。
障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき


 を押してください。

昇降グリルの下降、上昇が停止します。
停止を押さないで下げていくと、自動的に停止します。(出荷時の設定は2mです。)

下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。


昇降グリルの高さは変更することができます。変更したい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



上昇させるとき

フィルター昇降(温度設定)  を押してください。

昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

モーターが、停止したことを確認してください。

 を4秒以上押すとリモコンの表示が消えます。

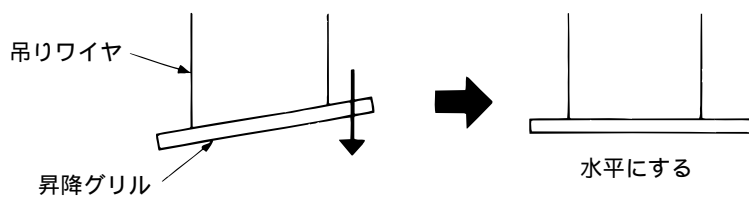
昇降グリルが作動中に  を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。
再度、昇降グリルを動かしたいときは、 に戻ってください。

昇降グリルを上昇させる時の注意

昇降グリルが水平になっているか確認してください。

昇降グリルが傾いている場合は、昇降グリルを水平にし、揺れないようにしてください。

昇降グリルが傾いていたり、揺れたまま上昇させると、うまく天井パネルに収まらず、故障の原因になります。うまく収まらないときは、昇降グリルを1度下げてから再度上昇させてください。



お手入れのしかた

お手入れの前に

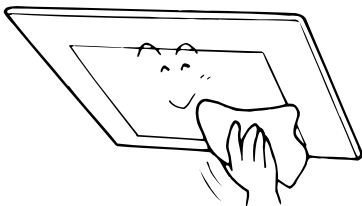
40 以上のお湯は使わない
変形・変色の原因になることがあります。

揮発性のもの等は使わない
ベンジン・シンナー・みがき粉等でふいたり、
市販の液状殺虫剤等をかけないでください。
変形・変色の原因になることがあります。



外装の掃除

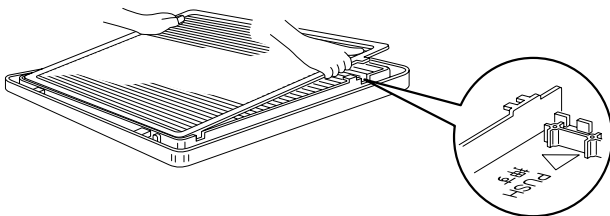
やわらかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、布を40 以下のぬるま湯か
水にひたし、よくしぼってからふいてください。
その後は乾いた布でふいてください。



エアフィルターの掃除

外しかた

昇降グリルに印字されている マーク部のエア
フィルター側面を押しながら、外してください。
エアフィルターは180度に向きを替えて取り付
けることができます。



掃除のしかた

ホコリは掃除機で吸い取るか、水洗いしてくだ
さい。水洗いしたときは日陰でよく乾かしてく
ださい。

その後エアフィルターの表面を上にして、昇降
グリルの枠中に正しく収め昇降グリルを上昇さ
せます。(エアフィルターに取り付け方向がある
ので注意してください。)

オイルガードオートグリルの場合

オイルガードフィルターの掃除

2週間に一度は洗浄してください。
中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。
洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてください。

《ご注意》

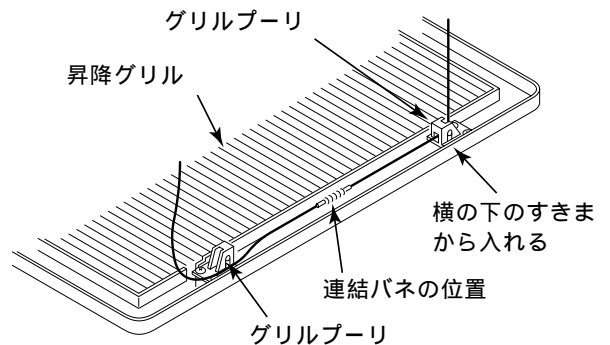
オイルガードフィルターは油煙に対して優れた
耐久性を発揮するもので、油煙を確実に捕集す
るものではありません。

オイルガードフィルターの洗浄期間は、油煙濃
度 $3.5\text{mg} / \text{m}^3$ の環境条件で算出しています。
油煙の付着や汚れの状態により洗浄期間を変え
てください。

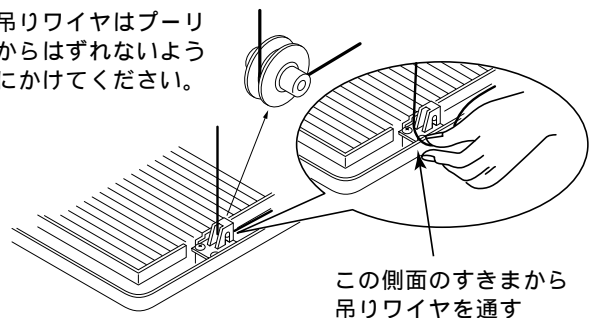
油煙の付着など、長期間のご使用で汚れがひど
い場合は、交換をおすすめします。

昇降グリルの取り付けかた

エアフィルターを取り付けてください。
ワイヤがプリーヘ正しくかかっているか確認して
ください、もしはずれている時は、連結バネがグ
リルプリーとグリルプリーの間にくるように吊り
ワイヤをグリルプリーの側面から通してプリーに
引っかけてください。



吊りワイヤはプリー
からはずれないように
かけてください。



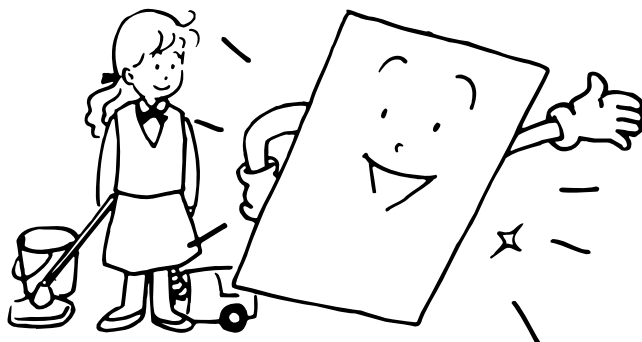
吊りワイヤの外しかた

エアフィルターを外し、昇降グリルを落下させな
いように確実に持ってから、グリルプリー側面の
すきまからワイヤを引き抜いてください。

上手な使いかた

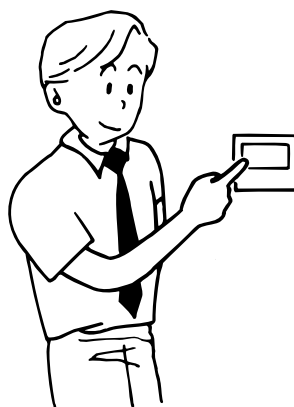
電気を節約し、快適にお過ごしいただくために次のようにお使いください。

⚠ 注 意 エアフィルターの掃除は定期的に



エアフィルターが目づまりしていると冷暖房能力が低下し、故障の原因になります。
こまめに掃除してください。

風向調節を上手に



室温のムラが少なくなるように、風向きを調節してください。

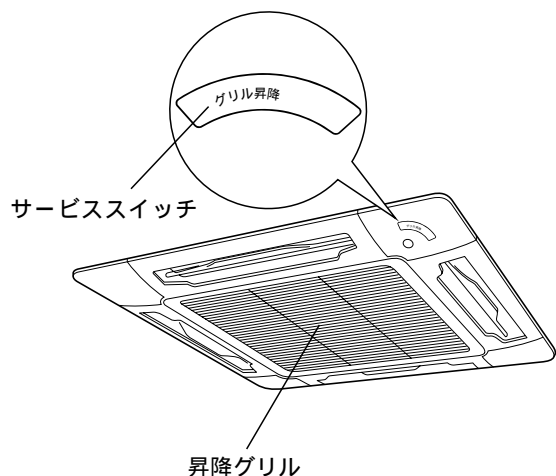
応急処置のしかた

必ず運転を停止して手元電源スイッチを切ってください。

リモコンで昇降グリルが下降、上昇できないときは、付属の応急金具を使用して通常の運転ができます。

グリルの開けかた

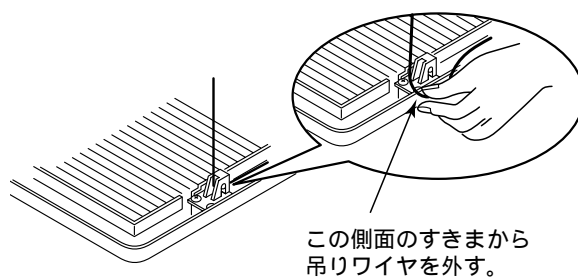
下図のようにグリルが収まった状態でサービススイッチを押すと昇降グリルは下がります。



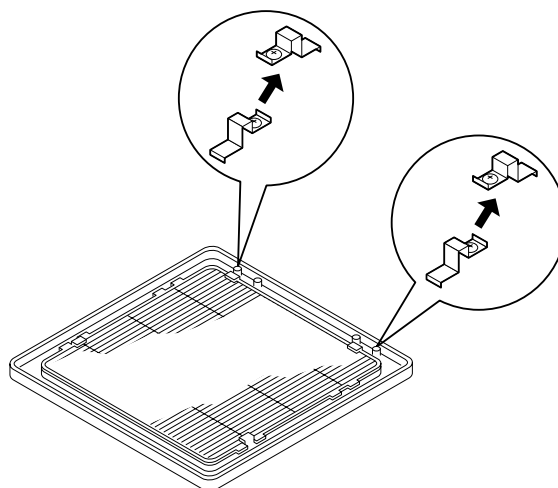
サービススイッチは押すごとに上昇、停止、下降をくり返します。
昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると収納動作を2回繰返した後、モータが停止します。

グリルの閉じかた

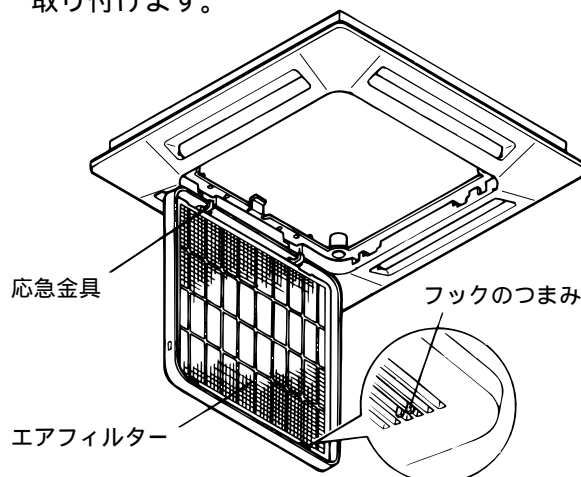
吊りワイヤから、昇降グリルを取り外します。吊りワイヤは、エアコン運転の妨げにならない所に、束ねてテープ等で止めてください。



昇降グリルの吊りワイヤ取り付け部にある応急金具は取り付けてあるねじを外して応急金具の向きをかえて付け直しをします。



昇降グリルの応急金具を天井パネル本体に引っ掛けて、フックのつまみをスライドさせて取り付けます。




故障かな？と思ったときは

次の場合は、故障ではありません。

症 状	原 因
昇降グリルが天井パネルに収まっても音がする。	吊りワイヤのたるみを防止するため、数秒間モーターがはたらいている音です。
昇降グリルが天井パネルに収まった後、2回昇降をくり返す。	きちんと昇降グリルが天井パネルに収まるための動作です。
運転中と停止中に「ピシピシ」という音がする。	部品が温度変化により伸縮するためです。

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症 状	原 因	処 置
昇降グリルが天井パネルにうまく収まらない。	エアフィルターがセンターパネルから外れていませんか？	昇降グリルを下降させて確認してください。
	フック先端部が昇降グリルの外枠より外に出ていませんか？ ( 7ページ)	フックのつまみをスライドさせて、フック先端部が昇降グリルの外枠より出ない様にしてください。
昇降グリルが降下、上昇しない。	ワイヤレスリモコンの電池が消耗していませんか？	電池を交換する。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは漏電ブレーカーを切り、お買い上げの販売店に形名と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター



0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220

西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で

365日

24時間

お応えします

新製品などの商品選び
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター



0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048

FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

電話受付：365日・24時間受け付けます。

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

この天井パネルを使用している東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

（出張修理になります）

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン
形名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	電話番号 訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

EH99915001 -